

## 《承認済》

### 第4回 碓井中学校区小中一体型校施設整備協議会 会議録

1. 審議会等の名称 平成30年度 碓井中学校区小中一体型校施設整備協議会
2. 開催日時 平成30年11月20日(火) 19:00～20:04
3. 開催場所 碓井小学校2階 グルメルーム
4. 公開又は非公開の別 公開
5. 非公開の理由(会議を非公開とした場合のみ)
6. 出席者
  - (1) 委員  
会長 末吉進一  
副会長 高松美紀  
委員 山口朝光、田中豊和、北村晃一、中村一宏、松隈進  
永田秀彦、藤井隆昭、福田豊彦、石場広規、笠原浩司
  - (2) 事務局  
学校教育課長 柴田きよみ、学校教育課長補佐 北富真治、学校教育課長補佐 赤坂晋、  
教育企画係長 山本匡貴、教育企画係 中島貴祐、教育企画係 山口陽子
  - (3) 関係者  
※碓井中学校区・稲築中学校区小中一体型校施設整備基本計画策定業務受託業者  
株式会社 海渡設計  
生涯学習課長 長岡和広
7. 傍聴人数(会議を公開した場合のみ) 0人
8. 議題及び協議の内容

#### 【議題】

- 1 施設配置について
- 2 空間計画、平面計画について

#### 【協議の内容】

- 1 施設配置について  
○敷地内の施設配置について協議を行った。
- 2 空間計画、平面計画について  
○市立図書館併設について以下の説明を行った。(生涯学習課長)  
・老朽化や建築から20年程度経過している図書館の多額の維持管理費用が必要となる。

・嘉麻市の財政状況や人口減少の状況から、嘉麻市の4つの公立図書館を維持していくことは厳しい。

・外部評価委員より、「財政の健全化及び市町村合併による行政運営の効率化を優先すべきであり、市内の図書館は2館程度が望ましいと考える。市が市民の利便性を優先し現状維持とするのであれば、4館運営に要する運営コストの圧縮を真剣に検討し実施しなければ、いずれは財政難から4館運営を断念せざる得ない状況になる可能性が高いと懸念される。」との意見が出ており、運営方法の見直しが求められている。

・現在の市立図書館を2館程度に統廃合する場合、施設の耐用年数や利用者数から判断すると、碓井図書館と稲築図書館が統廃合の対象になってしまう可能性が高い。

・図書館のない地域が出てきてしまい、交通手段のない子どもたちが図書館を利用できなくなってしまう。

・平成30年6月に嘉麻市学校施設整備基本計画(改訂版)が策定され、その中で、「学校と地域の相互交流を促進する地域コミュニティの拠点施設として、社会教育及び社会体育施設を併設した複合型の施設整備についても検討する。」という方針が示された。

・図書館を学校施設との複合型の施設として整備することができれば、施設設置の経費及び運営経費を抑えることができること、それぞれの地域に拠点施設として図書館を設置することができること、学校と地域が一体となって子ども達の読書活動を支援していくことができることなどが考えられる。

・今後の図書館の方向性を示すため、生涯学習課では図書館基本計画の策定を進めており、図書館基本計画(案)では、読書活動を行う拠点施設として、市内のすべての小中一体型校に市立図書館を併設し、学校と一体となった施設整備を行っていくこと、学校と一体となった施設整備が完了すれば、新設又は既存施設を活用した中央図書館の設置を検討していくことを基本的な考えとしている。

・生涯学習課としては、市立図書館を学校施設との複合化施設として整備していただきたい。

・碓井中学校区小中一体型校施設整備協議会においても、市立図書館を学校施設との複合化施設として整備することについて、検討していただきたい。

○碓井中学校区の空間計画、平面計画について、資料7に沿って説明を行った。(事務局)

説明を受け、協議を行い、次のような質問や意見が出た。(委員)

○予算的にも東側が良いのではないか。ただし、敷地内に運動場を何らかの形で設けてほしい。

- 東側が良い。ただし、駐車場の不足が予想されるため、臨機応変に対応できる駐車場整備を行って欲しい。
- 小学校と中学校は別々になるのか。
  - 小中一体型になるので校舎として小学校、中学校は一体になる。(事務局)
- 小学校グラウンドと中学校グラウンドは分けて設置されるのか。
  - 基本的にはグラウンドとして繋がった設置になると解釈していただきたい。(事務局)
- 運動場に設置する防球ネットは野球のバックネットになるのか。
  - 野球のバックネットではなく、ボールの飛び出しを防ぐ意味での防球ネットになる。(事務局)
- 学校内に地域開放できる図書館を設置することの良い点と悪い点は何か。
  - 良い点は、市立図書館が学校に入ること、朝読やお話し会にボランティアが参加し、子どもたちとの関わりが強くなる。そうなることで地域の人が協力した中で読書活動ができるのではないかと。
  - また、市立図書館になれば土日でも開館することで子どもたちが休日に図書館で勉強することも可能になるのではないかと。
  - 悪い点は、不特定多数の出入りになるため安全面の問題がある。シャッターで学校側と区分したり、管理人を配置したりと、嘉麻市にとってどのような形が良いかは協議していかなければならない。(生涯学習課)
- 学校側としては不特定多数の出入りが心配である。子どもたちに被害がないよう、もしもの時を想定し、安全面を考えて作っていただきたい。
- 東側配置案であれば、来客駐車場から図書館までが遠い位置になるのではないかと。
  - 校舎の形状によって確保できる駐車場の台数も変わってくるため、校舎周りの職員駐車場、図書館利用者の駐車場も含めたところで検討していきたい。(事務局)
- 図書館には車いすの方も利用できるような駐車場も必要。
- 学校の中に公立図書館を作ると、子どもたちの逃げ場が無くなってしまわないかと。また様々な人々が図書館に求める要件が学校の中の図書館になることで満たせなくなるのではないかと。
  - 現在の公立図書館に比べれば図書館のスペースは狭くなることが予想される。昼は学校図書館が優先されることで一般の方が求める要件を満たすことはできない可能性はある。それについては今後、新たに市立図書館を建設する予定があり、市内にある別の市立図書館の利用もしていただきたい。(生涯学習課長)
- 学校に建てることで広がるのではなく狭くなるのであれば、まだ綺麗な図書館を有効活用したほうが良いのではないかと。
  - 市内4館の市立図書館を残せる形が最善ではあるが、経費の問題で4館を継続運営していくことは難しい。確井は他に比べて利用状況も少なく、近い将来、閉館

になる可能性が考えられる。地域から図書館が無くなってしまふことは避けたいため、学校と併設し図書機能を残していきたい。(生涯学習課長)

○図書館について民間委託する考えはないのか。

→指定管理等の検討も行っているが、現在よりも経費がかかってしまう。また他の図書館との兼ね合いもあるため難しい。(生涯学習課長)

○授業数や特別教室の数などは小中の一単位時間数の違い等も考慮しているのか。

→時間割の組み方に関しては、小中が互いに調整、連携して組んでいかなければならない。特別教室の数については今後検討していく。(事務局)

## 9. 配布資料

(1) レジューメ

(2) 第1回碓井中学校区小中一体型校施設整備協議会 会議録

(3) 第2回碓井中学校区小中一体型校施設整備協議会 会議録

(4) 第4回碓井中学校区小中一体型校施設整備協議会 資料

【資料7】碓井中学校区のゾーニング(案)

(5) 第5回碓井中学校区小中一体型校施設整備協議会の開催について